



臨時役員会開催

9月11日(金)午後7時30分から、臨時役員会が行われました。

〇コロナ差別未然防止対応について
教育委員会・健康福祉課より

「美郷町をもっと住みよい町に」というテーマで差別・偏見のない美郷町のために、どうしたら良いか 自分が当事者だったら周囲にどんな対応をして欲しいか自分のこととして考えてみるのが大事であることについて啓蒙が行われました。

皆さんも、地域から排除するのではなく「地域で守る」の心を育みましょう。

〇防災拠点整備事業について
総務課より

近年、各地で今まで経験したことのない災害が発生していることから、「災害に強いまちづくり」ということで、避難所の自立電源と蓄電設備整備事業について説明会が開催されました。コロナ禍ということもあり、少人数で開催されました。

今後、9月末から工事に入り、公民館の屋根に太陽光パネルが設置される予定です。(令和3年1月完了予定) 災害が発生しても、避難所で安心して避難ができるよう最低限のライフライン(電気)が確保できるようにいたします。それに併せて別事業ではありませんが、体育館の屋根の塗りの替えも行われたいことになる予定です。

令和2年9月18日
発行所 比之宮公民館
〒696-0711
邑智郡美郷町宮内562-5
電話 0855-82-3474
Fax 0855-82-3800
比之宮の人口 8月現在
男124人・女142人

第3回 脳の健康教室・ひめのみや学級合同で開催!



8月26日 (水) 午前9時30分から健康福祉課から氏永保健師、生越社会福祉士、レクリエーション指導の西上さん、栗原さんを迎えて開催



また、みさと本の森の移動図書館から布本さん、渡利さんに来て頂きました。ゲームでは新聞をちぎり、また元のように並べる。口の健康では10秒間で「パタカラ」を何回言えるか? 滑舌をよくするため早口言葉。右手は2拍子。左手は3拍子。4拍子で指揮。やってみませんか。

9月1日(火)午後2時、邑南町との境の温度計が40度になりました。9月に入りまだまだ暑い日が続き、熱中症にならないよう水分補給をし、充分気をつけましょう。



ドライブインシアターみさとが開催!



準備中 機材の後に車を配置

8月23日(日)午後7時30分から、大和中学校グラウンドで、ドライブインシアターみさとが開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止で不要不急の外出を自粛せざるを得ない現在、校舎に巨大スクリーンを設置し、車の中でFMラジオから臨場感のある音声を聴きながら家族等で鑑賞し、ひと夏のよい思い出となりました。

える」という縁起を担いだ意味であることに加え、家族全員「み」が付くことから「こみ」と名付けられました。予定日より早く生まれまだ小さいですが、待望の男の子、元気に育ってくれればと思います。ちなみにお爺ちゃんに似ていると言われているそうです。



赤ちゃん誕生

7月27日(月) 松嶋光伸さん智美さん(宮内2)に男の赤ちゃんが誕生されました。名前は橙海(つみ)ちゃんです。おめでとうございます。各前の由来は、冬に熟した果実が年を越しても落ちず2〜3年なり続けることから「代々米



8月末、農繁期。田んぼの稲も黄金色に色付き、稲刈りシーズンとなりました。田んぼの法面には草刈りアート。秋パージョンの「のんだらるな 一人のマナーから」四季折々に楽しませて頂いています。

草刈りアート 秋

8月某日、笹目の土地の一角にユニークな看板が建てられました。最近獣害が増え、農家の方たちは大変困っています。爆竹を鳴らしたり、檻を設置したりと試行錯誤を繰り返していますが、この度獣に対するお願いを込めて、有井昌晃(宮内2)さんが、宮内に続き、平川美都(宮内2)さんに看板のイラストを依頼され設置されました。



第2弾 イノシシ看板

元協力隊の今

横倉 大介(村之郷2)

早いもので協力隊を卒業してから2年半が経ちました。現在は美郷町内の耕作放棄地などを解消して自己保全や野菜の栽培経営などに専念する仕事に就いています。春は農協からの委託作業もあり、苗智育苗センターでの種まきや苗の管理にも従事しています。この仕事に就いた頃は作業経験のない農業機械が多くて大変苦労しました。中でも一番乗る機会の多いトラクターは素人が基本も知らないままに運転してしまおうと思うように耕起できず、変形した圃場を起す時は作業が進まなかった事もありました。それが三年目にもなると、この様な事に機械にも慣れてきてそんな事も今では笑い話で、いい意味で貴重な経験をしたと思います。年々管理する農地は増えていて、自己保全の農地も含めると現在は10ヘクタール以上に増えています。主な作付けは蕎麦、白ネギ、広島菜で、蕎麦やキャベツなどの栽培も行っています。どんな形であっても地域に貢献したい、地域活性化を目指したいという強い思いがあれば、やりがい溢れる仕事になると思っています。



地域コーディネーターだより

比之宮地域活動コーディネーター

長畠 八志登

「コロナととも」

中止すべきかどうか開催が危ぶまれた「ふれあい祭り」はごうごうに開催。それ以降、新年度に入り公民館活動はできなくなり、連合自治会の恒例の行事もごうごうに中止となりました。「コロナ感染を防ぐため、人と人のふれあう機会がなくなりました。公民館活動をされていた方が「活動がなくなつて寂しい。」と話されていました。

新型「コロナ」が恐ろしいのは、治療薬がなく、「ワクチン」がないこと。その上、若い人などは感染していても症状が出ないというところで誰が罹っている、だれが罹っていないかわからない不安。また、感染すると誹謗中傷に襲われること。日常の暮らしの中で知らない人はいないような狭い地域社会では、このことが一番恐ろしく不安なことになると思います。先日こんな話を聞きました。「県内のほとんどの市部では感染者が出ているが、苗智郡でも美郷町でもまだ出ていない。感染者第一号だけにはなりたいくない。」
「コロナに感染しようと思う人は一人としていません。誰にも感染する可能性があり、たまたま感染した、感染していないという事だけで、明日の身は分からないのです。身近に感染者が出てくると、感染者の身になって、誹謗中傷することなく温かく見守る。そんな人はかなり多かったら、不安は安らぎ、きつと安心して住むことが出来るだろうと思います。「コロナウイルスは、人と人のあり方をしっかりと考えさせられます。」

文芸広場

俳句



墓掃除出来る喜び水運ぶ

大久保 朝子

青田風聞く事なき農日記

高橋 和子

合間見て地区の花壇の草を取り

田部 禮子

墓掃除二日かかるのでお返し

渡邊 光廣

露涼し野に微風の渡るよき

服部 康人

川柳



幸せの尺度を計の日々暮らす

大畠 千代枝

夫が植えた福寿草が福を呼ぶ

大久保 朝子

忘れまいとメモ書きをしたメモ忘れ

波多野 祐康

富士山をながめ故郷へ新幹線

福井 益代

一粒のウイルスが世界怯えさせ

藤原 節子

許すこと覚えて胸が軽くなる

森口 時夫

『可成の窓』

稲刈りはじまる！



今年も稲刈りシーズンがやってきました。昔のように、たくさんの方が手に手に鎌を持って稲を刈りハデ(稲架)干しという光景がみられなくなつた代わりに、昔の人から見るころポ

ットが稲を刈っているような勇壮な光景がどこでもみられるようになった。尚且つ、一束ずつハデ干ししなくてもいいとなると米作りをする人が増えてもいいのですが、減少傾向にあるのが現実です。今ドローンを使った防除や、リモコン草刈り機導入などにより、少しでも労力を減らしていく取組が行われています。これらがうまく機能し、昔のようには言えませんが、「米処 比之宮」が復活することを願ってペンを書きます。ペンネーム「ペンパトラー」

行事等案内板

○ひめのみや楽級(毎週水曜日)

9月30日は、本の森貸し出しがあります。

10月7日・14日・21日

○「二」健康教室

10月2日・16日・30日(金)午前10時

○「三」健康教室

10月8日(木)午前9時30分

○「四」健康教室

10月13日(火)午前9時30分